

らくよう

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。
その方らしい生活が出来るよう応援します。
最後までお世話させていただく準備が来ています。
特別養護老人ホーム楽陽荘 平成29年9月号 NO. 289

< 中部中学校ワークキャンプ >

8月1日中部中学校生徒46名の参加でワークキャンプを行いました。車椅子操作などを学習した後、お掃除やシーツ交換のお手伝いをさせていただき、移動介助や食事介助の体験では慣れないながらもやさしく声をかけながら介助する姿が見られました。夜の夕涼み会では、全員で「炭坑節」を踊って盛り上がりました。その後、生徒さんの「中部よさこいソーラン」を見せてもらい迫力ある踊りに感動し、アンコールの声があがりました。踊った後のすいかやアイスが美味しくて皆さんたくさん食べられて、最後は花火も楽しみました。生徒さんの若いエネルギーにお年寄りも職員もたくさんの元気をいただきました。ご尽力下さった先生や社協の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



参加された生徒さんより感想文をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

「福祉施設体験学習を終えて」

僕は、日頃お年寄りと関わる事が無いので貴重な体験となりました。お年寄りとコミュニケーションをする時は、大きな声でゆっくりと笑顔を忘れないように心がけました。移動介助では、車椅子の移動を手伝いました。ゆっくり、丁寧に声をかけながら行いました。食事介助では、スプーンを持って口に入れるお手伝いをしましたが、関わり方がとても難しかったです。僕たちが日常生活の中で、当たり前のようにしていることの、食べる、寝る、トイレに行く、お風呂に入ることの一つ一つがお年寄りの方は大変で、人の手が必要ということが分かりました。

夕食後は、手遊び、お口体操の後に中部よさこいを踊りました。アンコールの声かけでもう一度踊ることになりました。とても気持ちが良かったです。最後に、一緒に手持ち花火をしました。僕が、お手伝いするたびに「ありがとう」と、お年寄りの方はお礼を言って下さいました。挨拶とは不思議なもので、自然と笑顔にしてくれ心を温かく満たしてくれました。

この夏は、とても貴重な体験に参加することができました。

観音寺市立中部中学校 1年



< 森川夏子様 100歳祝賀会 >

8月2日、森川夏子様が100歳を迎えられました。

ご家族を招いて行われた祝賀会には、夏子さんが自分で選んだ赤い打ち掛けを着て出席されました。観音寺市長より顕彰状とお祝い金を頂き、「ありがとうございます」としっかりとお礼を言われていました。その後、大正琴や太鼓の演奏に合わせて皆で一緒に唄ってお祝いし、くす玉もご自分の力で勢いよく割られました。お昼にはご家族と一緒に祝い膳を囲みました。「お寿司好きや、美味しいな～」とたくさん食べられていました。今までご家族や社会のために頑張ってこられた夏子さんが、これからも自分らしく穏やかに過ごしていけるようにお手伝いさせて頂きたいと思います。



< 編集後記 >

今年の夏も暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんか。テレビや新聞で豪雨や落雷の被害のニュースを見ると心が痛むばかりです。9月には、敬老の日を中心に県知事や市長の来園と敬老会も予定しています。

今月広報担当：鈴木・亀野・森川